

新医学系指针对应「情報公開文書」改訂フォーム

連携病院でのアンチバイオグラムの共有による地域包括的な感染症対策

1. 研究の対象

茨城県立医療大学付属病院で、2016年4月以降実施された細菌検査で検出された細菌

2. 研究目的・方法

現在、多剤耐性菌が病院のみならず、施設や地域に急速に広がっています。それをコントロールするために、地域の病院で検出された細菌の薬剤に対する感受性の程度を把握することが重要です。一つの病院だけでは対応が難しくなっているため、複数の病院から同じように薬剤への感受性の程度を集計し一覧表（アンチバイオグラム）を作成し、地域で検出されている細菌がどのような薬剤にどの程度耐性を有するかの情報を公開することで感染症診療上、適正な投薬を行う事ができ、耐性菌のまん延を防ぐ事が可能になると考えています。

本研究では、付属病院の細菌検査で検出された細菌の薬剤に対する感受性情報を収集して集計します。また、集団発生時の原因究明のために問題となりやすい薬剤耐性菌などを保管します。

研究期間は平成30年3月31日までを予定していますが延長する場合があります。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：細菌検査年月日、検査検体名、細菌名、入院・外来の別、薬剤感受性試験結果等

試料：検出された細菌（MRSA、緑膿菌、セラチア菌、ESBL産生腸内細菌科細菌他）

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

茨城県立医療大学 医科学センター 桜井直美（研究責任者）

〒300-0394 茨城県稲敷郡阿見町阿見 4669-2

電話 029-840-2134